

第2回能登半島すずウルト라마ラソン 大会報告レポート

平成25年10月20日開催



能登半島珠洲ロードレース協会

1. 大会総括

今年の大会は、初回大会の課題を何点か改善することができ、また、ボランティアのホスピタリティー度においても、前回同様、素晴らしいものであったと認識している。後載の『参加者からのご意見』でも好評価が寄せられている。参加人数は、白山白川郷ウルトラマラソン大会の初開催による参加者減が予測されたが、影響を大きく受けることもなく、前年の126%増の774名の申込みがあり、第1回大会の評判が大きかったのではないかとと思われる。

大会運営の出来としては、当日は一日中雨が降り続き、生憎の天候となったこともあり、参加者にとって100%満足のできた大会ではなかった。数多くの運営上の問題もあり、天候条件を差し引いたとしても70点の出来であったのではないだろうか。大会の評価として、ボランティアの力に大きく支えられているが、運営面では、決して満足いくものではなかった。その理由としては、2回目の慣れからの見過ごしからか、コースの一部について誘導員の不在、収容や選手監督のスタッフが全体的に不足、コースの表示距離についても一部、あいまい点があったことである。参加者からの指摘もあったが、まさにその通りであり、実行委員会として猛省すべき点である。たまたま大きな事故が発生しなかっただけであり、細心の注意を払っていくことが今後の大会運営に求められる。

今回、改善した主な点は、暗闇時の安全対策、タイム測定機器導入による計測の正確化である。そのため、前回より2,000円の参加費値上げし14,000円とした。次回以降も、この対策を怠らないようにすべきである。さらには前述の誘導員、コース管理者（収容、監督等）、距離表示の正確さ再徹底を図るべきである。特に距離表示については100キロプラスアルファあることを不明確に表現しており、コンプライアンス的にも正式な距離表示をしていくべきであった。今後、コース変更等も検討するであろうが、今回のように102キロあるのであれば、102キロであることを明示し、100キロ地点でも計測を行うなどの対応を約束したい。

本大会開催にあたっては3つの目的がある。まずは、能登と全国を結ぶ交流人口拡大（毎年300人のリピーターづくり）させること。その次に奥能登地区の住民の健康づくり、及び若年層の故郷愛の創出、そして奥能登に経済波及効果をもたらすことである。この3つについては、おおよそ目的を達成できたものと考えている。前年からの参加者は200人を超え、リピーター率は3割に達している。毎年200人から300人ちかくのリピーター創出により、参加者にとって珠洲市が第二の故郷となっていくことが期待できる。また、これまで参考としてきた姉妹都市松江市で開催されている『えびすだいいくウルトラマラソン』からの参加者も招き、姉妹都市交流の一躍を担った。大会をきっかけと、小学生から高校生のボランティアが多くの県外参加者と交流することができた。将来的には、民泊や学校教育の中にも取り入れ、さらなる双方向の交流や故郷愛といったものを育てていきたいと考える。目的の3つめである経済効果については、のべ宿泊者数1000名程度あり、想定通りの効果があったと考えている。

将来的には、参加人数は1000人を目標としていくが、それ以上の人数を目指し、内容がついていかない大規模な大会にはしたくない。毎年、訪れていただく方、そして熟年層に対しても優先的な大会とし、大会の希少価値を高めていく。そのためには、さらなる地元理解、協賛企業の協力、そして運営体制の強化が急務であると考えている。これからも、さらなる成長、そして進化を目指していきたい。

2. 大会概要

大会テーマ 「心はひとつ、道は厳しく、人はやさしく能登の道」

～地元のボランティアを中心とした能登の人のやさしさたっぷりの大会を目指します

1) 大会概要

■大会名	第2回 能登半島すずウルト라마ラソン
■主催者	能登半島珠洲ロードレース協会
■開催日	平成25年10月20日(日) 5:00スタート
■開催地	石川県珠洲市、輪島市
■申込者数	◇100キロの部 男性475名 女性95名 (合計570名) 対前年139% ◇60キロの部 男性148名 女性56名 (合計204名) 対前年101% ■合計 男性633名 女性141名 (合計774名) 対前年126.5%
■コース	◇100キロの部 (制限時間14時間) 珠洲健民体育館～見附島～若山小学校～八太郎峠～町野～舟木谷峠～千枚田く折返し ～舟木谷峠～町野～曾々木～大谷町～ラケット道路～禄剛崎灯台～三崎町～珠洲健 民体育館 ◇60キロの部 (制限時間9時間) 珠洲健民体育館～見附島～若山小学校～大谷峠～大谷町～ラケット道路～禄剛崎灯台 ～三崎町～珠洲健民体育館
■参加費用	◇100キロの部 14,000円 (前年から2,000円アップ) ◇60キロの部 10,000円 (前年から2,000円アップ)
■後援	石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会、輪島市、輪島市教育委員会、北國新聞社
■企画協力	(株)日本旅行
■事務局	大会事務局代行 日本旅行金沢支店
■交流	えびすだいこくウルト라마ラソン (姉妹都市ウルト라마ラソン) 島根県松江市

2) 大会スケジュール

●10月20日/土曜日

受付	ラポルトすず	13:00～17:00
説明会(無料)	ラポルトすず	第1回14:30～ 第2回16:00～
前夜祭(有料)	ラポルトすず	説明会終了後～18:00頃

●10月21日/日曜日

駐車場	別紙案内の駐車場	(開場) 3:00～
当日受付	珠洲健民体育館内	3:30～4:45
開会式	スタート地点	4:50
スタート	100K&60K	5:00
ゴール	60K/100K	14:00終了/19:00終了

3. 参加者分析

1) 申込者数

- * 第1回大会と比較して、全体では対前年 126%の申込者数であった。(100キロ:139%/60キロ:101%)
- * リピーター率は 32.8% (昨年参加者数 612 人/リピーター数 204 人) と高い水準であった。

	100 キロ	60 キロ	合 計
男 性	4 7 5	1 4 8	6 3 3
女 性	9 5	5 6	1 4 1
合 計	5 7 0	2 0 4	7 7 4

2) 出走者数 () 内は出走率=出走者÷参加者数

	100 キロ	60 キロ	合 計
男 性	4 1 6 (8 7 . 5 %)	1 1 6 (7 8 . 3 %)	5 3 2 (8 4 %)
女 性	8 4 (8 8 . 4 %)	4 2 (7 5 %)	1 2 6 (8 9 . 3 %)
合 計	5 0 0 (8 7 . 7 %)	1 5 8 (7 7 . 4 %)	6 5 8 (8 5 %)

3) 年齢別 (100キロ/60キロの部)【別紙-1】

- * 100 キロの部は、ほぼ全年齢層で増加しているが、20 代が 157%、30 代が 191%と若年層の伸びが顕著であった。
- * 熟年層 (50 代以上) の参加者は 100 キロが全体の 35%、60 キロは 42%と大きなウエイトを占めた。

4) 都道府県別【別紙-2】

- * 第1回と比較して、県外および北陸地区外の比率が高まり、交流人口拡大に一躍を担った。
 - 62% (487 人) が石川、富山、新潟、福井以外からの参加者であった。県外比率は 74%であった。
- * 特に首都圏および、中部圏の伸びが大きかった。
 - 首都圏 95 人⇒178 人 (対前年 187%) 特に東京都は 34 人⇒83 人、神奈川県が 29 人⇒50 人
 - 中部圏 84 人⇒127 人 (対前年 151%) 特に愛知県は 45 人⇒83 人
 - 関西圏 113 人⇒141 人 (対前年 124%)
- * 第1回大会においても台湾からの参加者がいたが、第2回大会についても香港からの参加者がいた。
- * 遠方からも増え、北は北海道から南は宮崎までの幅広い参加があった。北海道、東北、中国、四国、九州地区+海外で 41 名の参加者がいた。参加がなかった県は秋田、山形、香川、愛媛、佐賀、大分、鹿児島、沖縄の8県であった。

4. 大会記録

1) 100 キロコース

		出走者		完走者		完走率	
男 性		4 1 6		2 9 1		6 9 . 9 %	
女 性		8 4		5 3		6 3 . 0 %	
合 計		5 0 0		3 4 4		6 8 . 8 %	
リタイヤ	千枚田 ~42 キロ	曾々木 ~58 キロ	自然保養村 ~73 キロ	狼煙 ~85 キロ	本 ~95 キロ	~ゴール	リタイヤ 合 計
男 性	1 1	1 4	3 9	4 2	6	1 3	1 2 5
女 性	4	3	1 4	6	2	2	3 1
合 計	1 5	1 7	5 3	4 8	8	1 5	1 5 6

2) 60 キロコース

		出走者		完走者		完走率	
男 性		1 3 6		1 1 6		8 5 . 2 %	
女 性		5 0		4 2		8 4 . 0 %	
合 計		1 8 6		1 5 8		8 4 . 9 %	
リタイヤ	自然保養村 ~33 キロ	狼煙 ~45 キロ	本 ~55 キロ	~ゴール	リタイヤ 合 計		
男 性	6	5	4	5	2 0		
女 性	2	1	2	3	8		
合 計	8	6	6	8	2 8		

3) 設置エイド

N o	100K	60K	地 点	タイプ	提供物			トイレ
	0K	0K	総合運動公園	大	アミノバリュー	水	カロリーメイト	既設
1	5K	5K	上戸付近	なし				仮設
2	8K	8K	見附島エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ	バナナ	既設
3	12K	12K	上戸エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		仮設
4	17K	17K	若山エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		仮設
5	21K	21K	宇都山エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ	バナナ	仮設
25	25K	25K	【大谷峠エイド】	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		仮設
6	26K		上黒丸エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ	おにぎりなど軽食	
7	30K		八太郎峠エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		仮設
8	36K		町野エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		仮設
9	38K		舟木谷峠エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
10	42K		名舟エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ	カレーライス	
	45K		(千枚田折返)	-	(エイドはなし)			既設
11	47K		名舟エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
12	52K		舟木谷峠エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
13	54K		町野エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		仮設
14	58K		曾々木エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ	パスタ(カルボナーラ)	既設
15	63K		塩田村エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		既設
16	67K		大谷エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
17	73K	33K	自然保養村エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ	能登米の塩おにぎり	既設
			→フットケア、着替荷物の交換ができます。					
18	76K	36K	高屋エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
19	79K	39K	椿峠エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ	バナナ/カロリーメイト	既設
20	82K	42K	川浦エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
21	85K	45K	狼煙エイド	大	アミノバリュー	水、飴、チョコ	【特製】山菜ミニ能登井 能登井事業組合協力	既設
			→見附島エイドで預かったヘッドライトをお返しします。(100Kのみ)					
			→15時半を越えて通過したランナーには反射タスキをお渡しします。					
22	90K	50K	寺家エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		既設
23	95K	55K	本エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ	カロリーメイト	仮設
24	98K	58K	正院エイド	小	アミノバリュー	水、飴、チョコ		
	100K	60K	ゴール	大	アミノバリュー	水	能登塩ジャガイモ、おそば	既設



上戸エイド (12K)



八太郎峠エイド (30K)



町野エイド (36K)



町野エイド (梅干し)



名舟エイド (カレーライス)



名舟エイド (42K)



曾々木エイド



曾々木エイド



塩田村エイド



自然保養村（着替え）



自然保養村エイド



自然保養村（味噌汁）



自然保養村（小学生）



自然保養村（太鼓）



自然保養村エイド



狼煙エイド



狼煙エイド



狼煙エイド（能登丼）

5) ボランティアスタッフ（各エイド以外）

金沢学院大学	（本部）当日受付、荷物管理、ゴール担当
ダスキン飯田支店	（本部）本部エイド、前夜祭準備、ゴール担当
石川県立飯田高校	（本部）ゴール担当
西部小学校・大谷中学校	エイド
珠洲市銀行協会	（本部）前日受付
金沢星稜大学	（自然保養村センター）荷物管理、フットケア
その他	輪島市、珠洲市の皆様

5. 第3回大会に向けての課題

1) 参加者からのご意見からの感想と指摘からの改善点

■総 評

感想及びご指摘

評価および改善（案）等

①ウルトラの大会はランナーズの基準では評価しがたい部分が多々ありますので必ずしも点数に反映されないかもしれませんが、能登珠洲は地元手作り、とってもいい大会です！

（評価）手作りの中でも、しっかりとした運営を目指していくことが重要。

②昨年よりも内容が良くなっています。エイドでは食べ物が増えたり、場所が大きくなったり。スタートとゴールが体育館前からグラウンドに移動したり。ゴール後にジャケットを着た大会スタッフの方に「おめでとう、来年も来てくれる？」って言われたのもうれしかった。

（評価）前回より改善されている。ラポルトせずに説明会会場を変更した効果大きい。

③能登半島と言う地名は知ってはいても、北海道在住の自分にはイメージの湧かない土地でした。正直、マラソンが無ければ訪れることはなかったと思います。行ってみると見どころが多く、活気もあるいい町で、自分の中の「能登半島」という地図に具体的な印象が描き加えられた、思い出深い大会となりました。

（評価）全く、これまで能登半島を知らない人を訪問させる効果

④総じて、地元の皆さんが一丸となって支えて下さっているのがよく分かるいい大会でした。これからもずっと続いて、ランナーなら誰でも知っている有名大会になってくれたらいいなと思っています。

（評価）地元が一丸となっていることを評価

⑤スタッフの方々、ボランティアの方々が、一生懸命、ランナーに気を配り、大会を成功させる為に努力されている姿に感動です。まだ2回目ということで、地元の人でもご存じない人が多いらしく、多くのランナーが訪れているのにも拘らず、半径30Km内にある食堂が殆ど閉まっていて、期待の能登丼を食べることができませんでした。

（改善）大会開催について、地元商店等、さらなる広報活動が必要
（改善）能登丼の期待度があまりにも高かったことから、配布方も含め、さらなるステップアップが必要

■ボランティア・応援に対して

感想及びご指摘

評価および改善（案）等

①おばあちゃんが手招きするので寄っていったら、柿を手渡してくれました。その好意が嬉しくて、かじりながらウルウルしちゃいました。

（改善）このような支援者を増やしていきたい。

②雨の中をスタッフやボランティアの人に支えられ、無事完走することができました。走っている途中は自分のことで精一杯で、感謝の気持ちを伝えられずに申し訳なく感じています。

③風雨のなか、びしょ濡れで道案内、誘導、エイドをしてくださった珠洲市と地元各地の皆さんに頭が下がります。

④沿道の応援は、決して多いという訳では無かったですが、悪天候のなか応援して下さった方々やエイドのボランティアの方々、スタッフの皆さんには感謝です。

⑤観光地を巡るコースはとても魅力的で、前日の下見では十分堪能しました。手作り大会の雰囲気があふれ、スタッフの一生懸命が伝わってきました。これからよくなる大会だと思います。

（評価）一生懸命さに甘んじることなく、さらなるホスピタリティーの充実を図ること



■コースに対して

感想及びご指摘	評価および改善（案）等
①狼煙の灯台を回るコースといい、主催者の遊び心も満載の素晴らしい大会です。	（評価）賛否両論ではあるが、今後も継続していく
②千枚田までの折り返し区間でのランナーひとりひとりと声を掛け合う時は、ホントいい体験ができました。	（評価）折り返しランナーのコミュニケーションとして今後も必要と考える。
③狼煙の灯台の下り坂は、雨で滑りやすいところに、子供連れの観光客がいて、かなり危ないと思いました。この寄り道コースはなくして、距離をちょうど100キロにしてはどうでしょうか？	（改善）雨で滑りやすい状態は考慮していなかった。基本的には走るとは禁止、スタッフによる観光客およびランナーへの注意喚起を行う。
④観光地を見せるとの主旨は素晴らしいのでいっそ珠洲ウルトラ102キロと銘打って正しい位置に表示板を設置なさってはいかがでしょうか。	（改善）名称は100キロとするが、概要、案内等の記載には正しい距離を表示することとしたい。

■安全面に対して

感想及びご指摘	評価および改善（案）等
①今年は自動計測が導入され安心して走れました。	（評価）
②コースの誘導が、少ないと感じました。特に後半の海岸線以降。昨年一度走っているコースなので迷いませんでしたが、初めて走る選手には不安だったと思います。誘導する人がいなくても、案内板や幟などでコースがわかるようにしてあればよかったと思います。	（改善）コースアウトについては、里町地区、舟木谷峠入口で発生。近隣の誘導員確保に努める。また、後半の川浦地区、三崎地区についても再検討が必要とする。また、暗闇となるラスト10キロについてもライトだけに頼らず、人員配置を検討する。
③コース誘導について指摘される人が多いのですが、私は全く問題なかったと思います。普通に走っていれば、迷うことはありません。小道に入るところや横切るポイントには、必ず誘導員がいました。	
④最後の10kmくらい、暗い道に人がいないのでコースが間違っていないか心配でした。女性ランナーだと余計不安かと思います。	
⑤反射タスキの貸し出しもされて、安全対策も採られていました。	（評価）継続予定

■エイドについて

感想及びご指摘	評価および改善（案）等
①名船エイドのカレーライス、曾々木エイドのメロン、塩田村エイドの塩、自然保養村エイドのおにぎり味噌汁、椿エイドのオロナミンC等々や私設エイドのコーラ、ファンタには救われました。	（評価）各エイドの工夫があった。フルーツ等、事前にインフォメーションできればなおよい。
②能登井が売切れたのは仕方がないとしても、後半のエイドでのカロリー補給に難があると思います。もう少し、おにぎりでもバナナでも後半のすべてのエイドステーションでおいて欲しいです。	（改善）能登井については600食を用意していた。しかしながら、配分方および何杯も食べるランナーもいたことも問題。設定数およびランナーへの注意喚起も含めて対応を検討する。能登井とのコラボレーションは事前プロモーションも含め、継続したい。
③能登井が食べられなかったのは、非常に残念。早いランナーが食べてしまったらしい。来年は、エイドに到着したランナー全員が味わえるよう配慮いただきたい。	
④能登の人の暖かい心、天気の良い能登の風景、そして能登井（能登牛・海鮮）を堪能したいと思います。	

■その他

感想及びご指摘	評価および改善（案）等
①前日の説明会の太鼓演奏にはしびれました。サプライズで素晴らしい説明会だったと思います。	（評価）虎之助太鼓については大好评であった。継続したい。
②ゼッケン番号が年令順、駐車場の近いところは年上に振り分けられる、など、年令が上のランナーに優しい大会でした。	（評価）この考え方はしっかり継続させていきたい。
③73 キロ地点での荷物受け渡しも手際よく、感動ものでした。	（評価）金沢星稜大学のメンバーの協力体制
④行政の支援がほとんどなしでここまでの大会を仕立てるのは並大抵のことではありません。心から敬意を表します。消費行動に関するアンケートをとって、経済効果をはじき出せば、地元自治体も考えてくれるのではないのでしょうか？	（対策）今後も、自治体等の理解を得られるよう、協力支援を切望していく。
⑤大会当日、第1駐車場のラポルトに駐車し、シャトルバス、受付、荷物預けなどとてもスムーズ。早朝からスタッフと大会関係者のあいさつに迎えられ気持ちよくスタートできました。	（評価）今後も運営面での評価をいただくよう努力する。
⑥飛び賞等をご準備頂くとさらに楽しく充実するか	（対策）入賞等のあり方を検討

6. 参加者の声

（レポート1）

皆さんお世話になりありがとうございました。今年は100Kに参加しましたが、雨で寒くてリタイアしてしまいました。寒い中、サポートしてくれたエイドの皆さん、ゴールで何時間も雨に打たれながらランナーを迎えてくれたスタッフの皆さん、本当にご苦労様でした。ウルトラの大会はランナーズの基準では評価しがたい部分が多々ありますので必ずしも点数に反映されないかもしれませんが、**能登珠洲は地元手作り、とってもいい大会**です！今回、おばあちゃんが手招きするので寄っていったら、柿を手渡してくれました。その好意が嬉しくて、かじりながらウルウルしちゃいました。また来年も是非参加したいと思います！評価点：97.5

（レポート2）

昨年は60キロコースでしたがこの大会でウルトラに初挑戦しゴールでき、今回は意気込んでの100キロ初挑戦でしたが、第4関門の狼煙の前の川浦エイドで16時50分となり、収容とあいりました。無念！昨年のこの大会以降2回のウルトラを体験してこの大会に備えていましたものでゴールこそ出来ませんでした。『飛騨高山ウルトラ』の72キロを超える自己最高の距離の82キロまでいけて満足です。2年がかりでこのレースの全工程を体験させていただきました。生憎の天気でしたが奥能登の景色に癒されました。また最高年齢の男性の1番の方や女性の1001番の方と楽しく話せて良かった。**この大会のナンバーカードの工夫**はとてもいいものですね。エイドのみなさんに感謝。名船エイドのカレーライス、曾々木エイドのメロン、塩田村エイドの塩、自然保養村エイドのおにぎり味噌汁、椿エイドのリポビタン等々や私設エイドのコーラ、ファンタには救われました。**前日の説明会の太鼓演奏**にはしびれました。サプライズで素晴らしい説明会だったと思います。運営に携わったすべての人に感謝です。来年、リベンジです。評価点：97.0

（レポート3）

ゼッケン番号が年令順、駐車場の近いところは年上に振り分けられる、など、年令が上のランナーに優しい大会でした。同行した方が、く上から？番目だ！最高齢になるまで頑張る！>と言っていたので、最高齢賞出していただけたら励みになると思いますよ。**狼煙の灯台を回るコースといい、主催者の遊び心も満載**の素晴らしい大会です。雨の中遅くまでご苦労さまでした！評価点：91.5

（レポート4）

今年は**自動計測が導入され安心**して走れました。雨の中でしたが素晴らしい景色と沿道やボランティアの方々の応援がありとても良かったです。評価点：89.0

（レポート5）

フル以上の60キロを挑戦しました。無事完走。自分自身、まだまだやれる！と感じました。いつかは100キロ挑戦させてください。この大会で完走してみたいです。天候、坂道、私に立ちはだかる障害物は沢山ありましたが、暖かい応援で最後までがんばれました。次回お願いしますね！評価点：89.0

（レポート6）

人生初のウルトラマラソン、なめていました。30kmあたりまではキロ6で刻み快調でしたが、八太郎峠・舟木谷峠、特に長い長い下りで足やられました。声援は温かく、千枚田までの折り返し区間でのランナーひとりひとりと声を掛け合う時は、ホントいい体験ができました。塩田村あたりからの大雨と強風で最後は息絶え絶えのゴールでしたが、なんとか**喉から手が出るほど欲しかった完走メダル**を首にかけていただいたときは……。恥ずかしながらの男泣きでした。ありがとうございました。評価点：88.5

（レポート7）

昨年は、初めてフルマラソン以上の60kmに出場し、今年は初めて100kmに出場しました。昨年より、走り込み不足で、不安を抱きながらの参加。当日の朝、宿を出る前に「コース攻略(1)一生懸命登らない、下らない八田郎峠（22キロ～35キロ）」を

見て、昨年の失敗を思い出し、今年はこの攻略法を守って八田郎峠や舟木谷峠を走りました。そのおかげで、後半もしっかり走ることができ、完走できました。コースの誘導が、少ないと感じました。特に後半の海岸線以降。昨年一度走っているコースなので迷いませんでした。初めて走る選手には不安だったと思います。誘導する人がいなくても、案内板や幟などでコースがわかるようにしてあればよかったと思います。雨にもかかわらず、声援して下さった沿道の人には感謝です。各エイドでは、カレーやスパゲティー、能登丼にフルーツと、しっかりいただきました。いろいろなおもてなしをしてくださったエイドの皆さん、ありがとうございました。評価点：86.0

(レポート8)

雨の中、横殴りに波風で体が冷やされ、何度か気を失いかけてましたが、初めてのウルトラマラソンを無事完走できました。コース誘導について指摘される人が多いのですが、私は全く問題なかったと思います。普通に走っていれば、迷うことはありません。小道に入るところや道路を横切るポイントには、必ず誘導員がいました。73キロ地点での荷物受け渡しも手際よく、感動ものでした。エイドの食事もおしかったです。おかげで、大きなタイムロスになりました(笑) 唯一の改善点は、狼煙の灯台の下り坂は、雨で滑りやすいところに、子供連れの観光客がいて、かなり危ないと思いました。この寄り道コースはなくして、距離をちょうど100キロにしてはどうでしょうか？ 評価点：85.5

(レポート9)

初めて100kmに挑戦しました。雨の中をスタッフやボランティアの人に支えられ、無事完走することができました。走っている途中は自分のことで精一杯で、感謝の気持ちを伝えられずに申し訳なく感じています。また、山あり海ありととてもいい景色で、是非また天気のいい日に走ってみたいと思えるコースでした。ただ、できれば改善してほしい点が多少あります。今後長く続けていただくため参考にしてもらえれば有難いです。最後の10kmくらい、暗い道に人がいないのでコースが間違っていないか心配でした。女性ランナーだと余計不安かと思います。給食が早くなくなってしまっていて残念でした。もう少し増やして欲しいです。

評価点：82.5

(レポート10)

最初に・・・この「大会レポ」の設問は、規模や距離など全く違う大会すべてに当てはめるのは、少々ムリがあります。(以前の方がまだよかった・・・)さて、出場された皆さん、お疲れ様でした。そして、スタッフ(主催者)や地元の皆さん、ありがとうございました。他の方が指摘されているように、距離表示、誘導(特に夕刻以降)、エイド等、課題は多々ありますが、行政の支援がほとんどなしでここまでの大会を仕立てるのは並大抵のことではありません。心から敬意を表します。消費行動(宿泊、飲食、土産等)に関するアンケートをとって、経済効果をはじき出せば、地元自治体も多少動いて(考えて)くれるのではないのでしょうか？老婆心ながら、来年以降も大会を継続するためにも、ぜひご一考を。とにかく、味わい深い素敵な大会でした。ありがとうございました。評価点：81.0

(レポート11)

100kmコースに参加しました。昼から本降りになった雨に悩まされましたが、能登の山、海を堪能しながら走れるコースで飽きずに走りきることができました。おにぎり、味噌汁、カレー、スパゲティー能登丼とエイドでもお腹いっぱい。早朝日の出前、雨の中、日が暮れた中応援くださった皆さん、係員、エイドの皆さんありがとうございました。それから私設エイドでコーラと缶コーヒーをいただき、生き返りました、ありがとう！ 能登が大好きになりました(^-^)^ところで、コース100kmにおまけが2kmほどついてませんか？ 評価点：80.0

(レポート12)

本大会は初参加でウルトラ(60km)に初挑戦。大会当日、第1駐車場のラポルトに駐車し、シャトルバス、受付、荷物預けなどとてもスムーズ。県民体育館も十分なスペースがあり、早朝からスタッフと大会関係者のあいさつに迎えられ気持ちよくスタートできました。20km以降、雨はあがったものの大谷峠や椿峠をはじめとする峠越えのアップダウンが多くタフなコースでしたが、里海里山の言葉どおり奥能登を満喫できるコース設定。エイド数も充足しており、椿峠のリポD(オロナミンCが正当)は気分転換にぴったり。また、本エイド等での見送り拍手も力になりました。個人的には目標タイムを上回り大満足でしたが、あえて改善すべきと思う点を申し上げます、スタッフ増員も良いのですが分岐点等の要所要所では石灰で矢印をしっかりと表示することでも代替

可能かと思います。また、通行規制は困難かと思うので、もう少しスピードを抑えて走行するように呼び掛ける（看板を大きく）などではどうでしょうか。さらに遠方からのランナーもいますので、飛び賞等をご準備頂くとさらに楽しく充実するかと思っています。来年は100kmに挑戦したいですね。 評価点：79.0

(レポート13)

能登、好きになりました。四万十川落選組が結構多く、自分も同じことから、妙な連帯感があり、楽しかったです。来年は12ゲーム差で、能登にエントリーします（笑）距離は、102.8kmありました（爆）細かいことはカンケーないです！評価点：78.0

(レポート14)

全般的にはホスピタリティにあふれた能登ならではの素晴らしい大会だと思いました。私は大阪在住で大阪マラソンに当選していたらここには来なかったと思いますが、来年からどうしようか迷っています。2つだけ意見させてください。周辺の観光地をめぐめるために1-2km長いのは仕方ないとして、それでもきっちりと距離表示をすべきと思います。丁度100kmのタイムとゴールタイム（歓喜の+2kmとでもされたらどうですか？）がわかるようにすればいいと思います。特に、最後の10kmは11km近くあったように思われ、GPS時計所持率の高い昨今、体力の限界の最後である距離の不正確さ（実際より長いこと）は、ランナーにとって残酷です。もう一つは、能登井が売切れたのは仕方ないとしても、後半のエイドでのカロリー補給に難があると思います。もう少し、おにぎりでもバナナでも後半のすべてのエイドステーションでおいて欲しいです。狼煙の直後にハンガーノックになってしまいましたが、パン屋さんでアンパン購入して事なきを得ました。評価点78.5

(レポート15)

予報どおり、スタート時から小雨の天気 反射タスキの貸し出しもされて、安全対策も採られていました。20キロ過ぎからの大谷峠の上り下りから徐々にペースダウンしだし、ラケット道路から完全に徒歩になってしまいました。次第に雨風も強くなって、精神的にもめげてきます。前半の貯金を使い果たして、8時間でゴール。直後に100キロランナーがゴールされました。誘導員、エイドともそつなく運営されていました。ただ、海岸どおりの路側帯は水溜りができており、車も猛スピードで通り過ぎるので、ヒヤリとすることが何度かありました。評価点：77.0

(レポート16)

初めてのフル以上の距離を走りました。心配していた雨はほとんど影響はなくて助かりました。コースの分岐点がわかりにくい場所がある。分岐には是非監視員を配置してもらいたい。エイドは充実していて楽しめました。エイドでのおしゃべりも楽しかった。完走メダルは不注意でちょっと欠けちゃったけど、東京マラソンの完走メダルをもらったときより嬉しかった。スタッフ、ボランティアの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。評価点：75.5

(レポート17)

昨年に続いて参加です。あいにくの雨でせっかくの景色は楽しめませんでしたが、何とか完走できました。能登の端で、このような大会があることに石川県民として感謝しています。主催する皆さんの努力は大変なものだと思います。起伏のあるタフなコースですが、コースどり、エイドや運営に関して、年々工夫していい大会にしていって欲しいと思います。暗くなってからの走行は、前からの車のライトで道が見えないとか、危険な要素があるので、パイロン等があればコースがわかるのではと思います。またヘッドライトは、ある時間以降はエイドで貸し出して、回収するようにしてはどうかと思います。来年も出たいと思います。評価点：74.5

(レポート18)

今回初参加でした。序盤は平坦ですが中盤の舟木峠の往復と70キロ過ぎからのアップダウンが厳しいですね。残り10キロからも小刻みな登りが続き最後は制限時間3分前のゴールとなりました。雨のなかエイドで支えてくれた皆さんありがとうございました。狼煙の灯台は罰ゲームみたいで面白いですが、能登井がなかったのが残念です。終盤のエイドの食べ物がなくなっていたので、来年はもう少し増やしておいてほしいです。73キロで着替える時に雨でゼッケンを付け変えるのに時間がかかりました。着替え様のゼッケンを事前に別で用意してもらえると助かります。来年も来ます！ 評価点74.5

(レポート19)

去年初めて100キロに挑戦し、第三関門にもたどり着けず。收容車のなかでひっそり涙しました。今年こそはと再挑戦し、けっこうギリギリでしたが完走！ずっと雨でかなり体力を奪われましたが、完走したら逆にキツイ状況乗り越えた嬉しさでも思わずガッツポーズしてしまいました。能登井をたべそこねたのは非常に残念ですが、コーラは復活のきっかけになりました。ちょうどアミノバリューの味にあきてたので。あれがなかったらおそらく完走はなかったと思います。決してアミノバリューが嫌いとかじゃありませんが！評価点：73.5

(レポート20)

風雨のなか、びしょ濡れで道案内、誘導、エイドをしてくださった珠洲市と地元各地の皆さんに頭が下がります。ほとんど言うことなしなのですが、ゴールまでラスト15キロの看板から10キロの看板までGPS計測で約7キロありました。距離は正確ではない、と事前説明はありましたが、ラスト30キロからは正確だとも説明なさってました。距離が100キロより長くなることに異存はないのですが、目標タイムを決めて頑張っている参加者や、制限時間ギリギリで走られているランナーも多く、最後の最後で2キロ増えると調整もきかず、何十キロもキロ何分何秒ペースで、と頑張ってきたのがガラガラと崩壊してしまいます。観光地を見せるとの主旨は素晴らしいのでいっそ珠洲ウルトラ102キロと銘打って正しい位置に表示板を設置なさってはいかがでしょうか。

評価点：72.0

(レポート21)

例年この日は四万十に参戦してましたが、今年は落選してしまい、他にウルトラは無いかなと思い探したところ、能登すずウルトラの存在を知り、早速エントリー。生まれて初めて能登に遠征して来ました。大会前日は天気もよくて、明日この雄大な能登の景色を観ながら走れるのかと思い、楽しみにしてたのですが、当日は生憎の天候(泣)コース自体の高低差は、さほど無いのですが、終始アップダウンが続くというなかなかのハードなコース(笑)しかし、この日は気温が低かったせいか、とても快調に走る事ができ、自分でも驚きの久々の11時間台でのゴール。預けていたライトも使う事なく、明るいうちにゴール出来ました。

沿道の応援は、決して多いという訳では無かったですが、悪天候のなか応援して下さった方々やエイドのボランティアの方々、スタッフの皆さんにはホント感謝感謝です。途中のエイドで食べたカレーが最高に良かった。ゴール後に食べた温かいおそばが、涙が出そうなくらい嬉しかったです。来年も是非参加したいです。今度は晴れてほしいですね。評価点71.5

(レポート22)

雨でしたが、今年のサロマより速くゴールする事が出来ました。大会の規模が小さいので出来る事と出来ない事があると思いますが、昨年よりも内容が良くなっています。エイドでは食べ物が増えたり、場所が大きくなったり。スタートとゴールが体育館前からグラウンドに移動したり。前日にコースを車でまわりましたが、あれだけゴミが散らかっていた道路をどうやって片付けたんだろう？と思いました。ゴール後にジャケットを着た大会スタッフの方に「おめでとう、来年も来てくれる？」って言われたのもうれしかった。個人的に、初ウルトラのゴールが昨年の能登半島すずウルトラマラソンでしたので、他の人より思い入れがあるかもしれませんが良い大会ですよ。また、来年も参加します。評価点70.0

(レポート23)

スタッフの方々、ボランティアの方々、一生懸命、ランナーに気を配り、大会を成功させる為に努力されている姿に感動……感謝、感謝です。まだ2回目ということで、地元の人でもご存じない人が多いらしく、多くのランナーが訪れているのにも拘らず、会場から半径30Km内にある食堂が殆ど閉まっていて、期待の能登井を食べることができませんでした。また、エイドの山菜能登井も売り切れで食べることができませんでした……残念！！来年も是非参加させて戴き、能登の人の暖かい心、天気の良い能登の風景、そして能登井(能登牛・海鮮)を堪能したいと思います。評価点68.0

(レポート24)

後半のやまであるラケット道路頂上、そして80km付近低血糖で倒れそうになったときに自分を助けてくれたのが、「ファイトー」とランナーを励ましてくれる男性が提供してくれたオロナミンCでした。他の方のレポートにもあるように、後半食べ物の提供が少なかった(自分が順位的に遅かったせいもありますが)ため、飢えと風雨による寒さで容易に低血糖となりました。次のエイドでこそ何か口にするぞーと思ったらアミノバリューしかなかった(アミノバリューはそんなにカロリーはないと思います)、オロナミンCの糖分補給は元気百倍でした。100kmマラソンの後半や寒い日にはもう少しエネルギーの高いものがあるとよいと思い

ました。千枚田付近のカレーもよかったです。エイドの皆さん、悪天候の中ありがとうございました。評価点66.5

(レポート25)

能登半島と言う地名は知ってはいても、北海道在住の自分にはイメージの湧かない土地でした。正直、マラソンが無ければ訪れることはなかったと思います。行ってみると見どころが多く、活気もあるいい町で、自分の中の「能登半島」という地図に具体的な印象が描き加えられた、思い出深い大会となりました。

今後、こうなったらいいと思うのは、まずはエイドでの給食の拡充です。飴やバナナなどのカロリー源のないエイドがいくつかあったのが気になりました。あとは、いくつか分かれ道でもスタッフさんがいらっしゃらず、看板などの表示もないところがあったので、走っていて道があるのか不安になりましたのでせめてのぼりや矢印などがあればありがたいです。総じて、地元の皆さんが一丸となって支えて下さっているのがよく分かるいい大会でした。これからもずっと続いて、ランナーなら誰でも知っている有名大会になってくれたらいいなと思っています。評価点65.5

(レポート26)

60キロの部に初参加しました。前日に車で下見をしたのですが、大谷峠やラケット道路など「こんなきついコースを走るのか??」と不安になりました。当日前半はしとしと降りの雨、後半はざんざん降りの雨でしたが、大谷峠は歩いて登り、走って降りて抑揚(?)を楽しめました。海岸沿いの道は「晴れていたらきっといい景色なんだろうな～」と思い描きながら走りました。どのエイドも地元の方が暖かかったです。狼煙灯台までのあの道のりはアキレス腱に効きました(笑)そして、あの灯台往復が60キロに入っていないのを完走してから聞きました。どうりでGPSの距離が微妙だったわけです(笑)冷えたオロナミンC、山菜の能登丼、能登米のおにぎり、海藻入りお味噌汁などなど、派手さはないですが能登半島の良さがじわっと伝わるエイドでした。長く続いて欲しい大会です。来年も参加します!って言いたいところですが、愛知から片道6時間以上もかかるので、そこが悩みどころ。片道6時間かかっても参加したい!って思える「もうひと押しの何か」ができるのを期待しております。評価点65.0

(レポート27)

観光地を巡るコースはとても魅力的で、前日の下見では十分堪能しました。手作り大会の雰囲気があふれ、スタッフの一生懸命が伝わってきました。これからよくなる大会だと思います。主催者はランネットの評価を読んでおられるので、次回以降に向けて要改善点をいくつか。1. エイドの食べ物を増やしてほしい。すべてのエイドに何かの食べ物を置いてほしいです。2. 85キロ地点の能登丼がなくなったのは大失態。結局、79キロのオレンジ以降、食べ物なしで走ることになりました。こんなに食べ物が乏しいウルトラは初めてです。3. ヘッドライトの回収は止めて、最初から85キロ地点に送る方が良い。私のヘッドライトは85キロ地点で受け取れませんでした。評価点63.0

(レポート28)

開催者および地元の方々の温かい応援で、つらい雨の中でしたが、完走できました。景色も良かったです。晴れたら、もっと良かったのに。ただ、期待していた能登丼が食べられなかったのは、非常に残念。早いランナーが食べてしまったらしい。来年は、エイドに到着したランナー全員が味わえるよう配慮いただきたい。評価点55.5

(レポート29)

これまで何度かウルトラマラソンは走っていますが、このコースは、景色、難易度、共にとても良いと思います。しかし、スタッフの誘導が行き届いていない場面も多く、走っていてコースアウトしていないか不安でした。それから後半の灯台で下る時に、こけそうで怖かったです。今年は雨が降っていたので余計そう思ったと予想しますが、それでも普通の観光者もいる中では危険です。参加料金を若干上げてでも、スタッフの増員をした方が良いと思います。良いコースなので、もったいないです。

評価点52.0

(レポート30)

コースの誘導スタッフがほぼ皆無?といったくらいの印象しか残っておらず、走っているコースが正しいのか不安になりました。一般道を走る車のスピードが制限速度を大幅に超えており危険な状態。巡回しているパトカーはランナーに対しての注意アナウンスばかりで車やバイクへの注意や取締はしていない感じに見えました。100km部門は70kmまでのエイドの食べ物はそれなりに充実していたようですが、60km部門では100km部門の後半と同じく、おにぎりや山菜丼のみ。バナナや飴チョコレートはあります

が何かもう1つ大谷峠に設置して欲しいと思いました。60km コースの難所は大谷峠だと思いますが、標高差 250m を登り下っていきます。ラケット道路も厳しいですが、エイドでオロナミンC を飲めたのは嬉しかった。狼煙の灯台のあとは、歩いては走り歩いては走りの繰り返しで、あと 5km、4km と表示されている看板があまりにも遠く感じ、何度も何度も時計を確認していました。珠洲を知ってもらいたいという主催者の気持ちはわかるので、来年は制限時間の延長をしてほしいですね。評価点 38.5

(レポート 31)

雨の中の厳しい条件でしたが、コース誘導が少なすぎです。大事な分岐ポイントでも係りがいないケースがあり、**コースを間違えてしまいました。**競技ではないとの説明はありましたが、参加費を徴収して大会として運営する以上、最低限の誘導をつけるよう改善すべきではないかと思います。**もう参加しません。**評価点 23.0

資料データ編

【別紙ー１】年齢別参加者データ

年齢	100km 男性	(前年)	100km 女性	(前年)	100km 合計	(前年) 合計	全体 比率	前年比	60km 男性	(前年)	60km 女性	(前年)	60km 合計	(前年) 合計	全体 比率	前年比	合計
20		2				2	10.5%		2				2		8.9%		2
21	4	1			4	1											4
22	6	3	1		7	3				3		1		4			7
23	8	1	2		10	1			2				2				12
24	5	6			5	6			1	1	1		2	1			7
25	5	5	1	2	6	7					1		1				7
26	7	4	4		11	4			2	5			2	5			13
27	3	1	1		4	1			1	3	2	1	3	4			7
28	6	4	1		7	4			3	2			3	2			10
29	4	9	2		6	9			3	3			3	3			9
20代計	48	36	12	2	60	38		157.9%	14	17	4	2	18	19		94.7%	78
30	10	4			10	4	24.6%		2	5	1	1	3	6	25.6%		13
31	3	4	2		5	4			6	3		1	6	4			11
32	8	6	4		12	6			7	5			7	5			19
33	15	1	1	3	16	4			2	3	3	1	5	4			21
34	12	9	2	1	14	10			1	3	2	3	3	6			17
35	10	8	2	1	12	9			3	5	2	1	5	6			17
36	14	10	4	3	18	13			4	6		2	4	8			22
37	14	6	2	1	16	7			6	1		1	6	2			22
38	11	6	1		12	6			6	4	1	2	7	6			19
39	20	7	5	3	25	10			4	4	2	4	6	8			31
30代計	117	61	23	12	140	73		191.8%	41	39	11	16	52	55		94.5%	192
40	7	8	4		11	8	29.8%		3	5	1	3	4	8	23.6%		15
41	15	10	2		17	10			4	1		1	4	2			21
42	15	13	1	7	16	20			5	5	3	1	8	6			24
43	12	11	2	4	14	15			4	2	4	3	8	5			22
44	16	14	7	5	23	19			2	6		2	2	8			25
45	14	9	4	1	18	10			3	3	4	3	7	6			25
46	18	7	5	2	23	9			3	4			3	4			26
47	17	14	3	2	20	16				4	1	1	1	5			21
48	13	12	3	5	16	17			4	3	2	3	6	6			22
49	11	10	1	1	12	11			4	4	1	1	5	5			17
40代計	138	108	32	27	170	135		125.9%	32	37	16	18	48	55		87.3%	218
50	14	13	6	8	20	21	26.0%		4	4	1	1	5	5	28.6%		25
51	18	11	3	2	21	13			3	4	3	2	6	6			27
52	16	14	2	3	18	17			4	8	4		8	8			26
53	16	6	3	1	19	7			8	6			8	6			27
54	13	15		1	13	16			6	3	1		7	3			20
55	15	8	1	2	16	10			1	5	2		3	5			19
56	6	6	3		9	6			6	4	1		7	4			16
57	10	7	2	3	12	10			4	4			4	4			16
58	7	3	3		10	3			5	5	3	4	8	9			18
59	9	3	1	2	10	5			2			1	2	1			12
50代計	124	86	24	22	148	108		137.0%	43	43	15	8	58	51	101	113.7%	206
60	4	3	1	3	5	6	8.9%		3	2	3	1	6	3	13.3%		11
61	8	7	2	2	10	9			3	3		1	3	4			13
62	5	16		1	5	17			2	1	2		4	1			9
63	9	6			9	6			2		1	2	3	2			12
64	6	5	1	1	7	6			2	3	4	2	6	5			13
65	4	3		1	4	4			3	2			3	2			7
66	4	1			4	1			2	1			2	1			6
67	2	3			2	3				2				2			2
68	4				4												4
69	1				1					1				1			1
60代計	47	44	4	8	51	52		98.1%	17	15	10	6	27	21	42	128.6%	78
70	1				1		0.2%								0.0%		1
71		3				3											0
72		1				1			1				1				1
73																	0
74										1				1			0
70代計	1	4	0	0	1	4		25.0%	1	1	0	0	1	1		100.0%	2
総計	475	339	95	71	570	410		139.0%	148	152	56	50	204	202		101.0%	774
																	126.5%

【別紙—2】都道府県別データ

(左側は本年度、右側は第1回実績)

都道府県	男性	女性	総計	エリア計	比率	都道府県	男性	女性	総計	エリア計	前年比	エリア
北海道	3	2	5	11	1.4%	北海道	1	1	2	4	250.0%	275.0%
青森県	3		3			青森県			0		初参加	
秋田県						秋田県			0		初参加	
岩手県	2		2			岩手県			0		初参加	
山形県						山形県	1		1		0.0%	
宮城県	1		1	178	23.1%	宮城県	1		1	95	100.0%	187.4%
茨城県	3	1	4			茨城県	5	1	6		66.7%	
栃木県	2	1	3			栃木県	1		1		300.0%	
群馬県	4		4			群馬県	2	1	3		133.3%	
埼玉県	10	2	12			埼玉県	9	2	11		109.1%	
千葉県	15	7	22	287	37.2%	千葉県	9	2	11	295	200.0%	97.3%
東京都	61	22	83			東京都	22	12	34		244.1%	
神奈川県	35	15	50			神奈川県	22	7	29		172.4%	
新潟県	15	6	21			新潟県	3	3	6		350.0%	
富山県	39	8	47			富山県	33	5	38		123.7%	
石川県	180	24	204	127	16.5%	石川県	195	44	239	84	85.4%	151.2%
福井県	9	6	15			福井県	9	3	12		125.0%	
山梨県	3		3			山梨県			0		初参加	
長野県	4	1	5			長野県	5		5		100.0%	
岐阜県	18	2	20			岐阜県	19	3	22		90.9%	
静岡県	6	1	7	141	18.3%	静岡県	4		4	113	175.0%	124.8%
愛知県	70	13	83			愛知県	37	8	45		184.4%	
三重県	9		9			三重県	7	1	8		112.5%	
滋賀県	8	1	9			滋賀県	3	1	4		225.0%	
京都府	11	4	15			京都府	13	7	20		75.0%	
大阪府	56	18	74	19	2.5%	大阪府	45	12	57	13	129.8%	146.2%
兵庫県	24	6	30			兵庫県	16	5	21		142.9%	
奈良県	7	1	8			奈良県	9	1	10		80.0%	
和歌山県	4	1	5			和歌山県	1		1		500.0%	
鳥取県	1		1			鳥取県			0		0.0%	
島根県	4	4	8	4	0.5%	島根県	2		2	2	400.0%	200.0%
岡山県	4	1	5			岡山県	7		7		0.0%	
広島県	2		2			広島県	1		1		0.0%	
山口県	2	1	3			山口県	3		3		100.0%	
徳島県	3		3			徳島県	1		1		300.0%	
高知県	1		1	5	0.6%	高知県			0	2	初参加	250.0%
香川県						香川県	1		1		0.0%	
愛媛県						愛媛県			0		0.0%	
福岡県	1	1	2			福岡県	2		2		100.0%	
長崎県	1		1			長崎県			0		初参加	
佐賀県				2	0.3%	佐賀県			0	4	0.0%	126.5%
大分県						大分県			0		0.0%	
宮崎県	1	1	2			宮崎県			0		0.0%	
鹿児島県						鹿児島県			0		0.0%	
沖縄県						沖縄県			0		0.0%	
海外(香港)	1	1	2	2	0.3%	海外(香港)			0		0.0%	
海外(台湾)						海外(台湾)	2	2	4	4	初参加	
	623	151	774	774			491	121	612	612	126.5%	



『道は厳しく、人はやさしく能登の道』

これからも手作り感満載で、能登の魅力とおもてなしをたっぷり提供していく大会を目指します



第2回能登半島すずウルトラマラソン大会

主催：能登半島珠洲ロードレース協会

石川県珠洲市飯田町28部ー33ー1 ダスキン飯田支店内

■企画協力 株式会社日本旅行